

# イノベーションで日本の 成長限界を打ち破る

参議院議員

松田岩夫

2009年6月20日

# イノベーションと需要の 好循環を作る

- ケインズ 有効需要の不足に財政支出を
- シュンペーター 経済の発展は企業家が行う  
新結合(イノベーション)から
- 吉川洋東大教授 両者の統合モデル「需要創  
出型のイノベーション」
- 健康長寿の安心・安全、グリーン・ニュー  
ディールなどのための財政政策・科学技術政  
策と企業家との賢い結合 産学官連携で「需  
要創出型のイノベーション」

「先端融合領域イノベーション創出拠点」  
第三期科学技術基本計画のイノベーション創出  
のための目玉政策  
産学官連携を最も徹底した施策(産学官共同)

- 大学等が、企業とのマッチングにより産業界と共同で行うイノベーション創出拠点の形成を支援。
- 実施期間は原則10年。当初の3年間は拠点の本格化に向けた絞り込みのための期間。三年目に再審査を行い、1/3程度に絞り込む。
- 再審査までの3年間 年間3億円程度 本格的実施後 年間5～10億円程度(ともに間接経費を含む)
- 第三期初年度に採択された9課題について、平成20年度再審査が実施された。

# 平成20年度再審査結果

課題名	代表機関	再審査結果
高次生体イメージング先端テクノハブ	京都大学	継続課題
再生医療本格化のための最先端技術融合拠点	東京女子医科大学	継続課題
ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点	東京大学	継続課題
未来創薬・医療イノベーション拠点形成	北海道大学	継続課題
生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム	大阪大学	再エントリー可能課題
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	岡山大学	再エントリー可能課題
少子高齢社会と人を支えるIRT基盤の創出	東京大学	再エントリー可能課題
分析・診断医工学による予防早期医療の創成	名古屋大学	再エントリー可能課題
半導体・バイオ融合集積化技術の構築	広島大学	再エントリーを認めない課題

# 大学サイドの課題(1)

- 大学トップを含め大学全体として積極的な努力がなされているか。
- 採択課題を中心に将来にわたって一大イノベーション拠点にしていく展望を持っているか。
- 優れた研究者を学内外から招聘するなど体制の整備が進んでいるか。
- 医学、工学、情報学、経営学など関連する分野の学内での融合が図られているか。

# 大学サイドの課題(2)

## イノベーション創出を実現するプロデューサー人材

- 「アカデミアと産業を結集した国際推進体制には、優れた科学者・研究者を尊重しつつも相並び立つ国際俯瞰力・哲学・ネットワーク・実現力を持ったコーディネーター(プロデューサー)役が車の両輪として必要」(東京女子医科大学の岡野光夫教授と江上美芽コーディネーター)。  
(企業では、例えば、ホンダ、ソニーの天才的なエンジニアであった本田宗一郎、井深大には、優れた経営センスの藤沢武夫、盛田昭夫がいた。)
- 高度プロデューサー人材の育成と高待遇安定雇用の確立
- 大規模な研究拠点には、拠点内にこうした人材からなるイノベーション・マネジメント組織を置く、あるいは外部の専門機関(こうした民間部門を育てる必要あり)に委託する。

# 産業・企業サイドの課題

- イノベーションは、企業にとって経営戦略の最たるもの。経営トップを含めた全社的な事業の一つとして位置付けられているか。
- テクノロジー戦略とマーケティング戦略がよく統合されているか。
- 研究部門だけでなく、新事業企画・経営企画部門などが産学連携の接点となっているか。
- 社会インフラとして展開する展望、国際標準として世界展開する展望などに立っているか。
- 「先端融合領域イノベーション創出拠点」の経験に学び、産学官共同を進めてほしい。企業と大学の研究開発投資のマッチングを原則としていく。

# 技術戦略とともにマーケティング 戦略でイノベーション全開

- 大学発ベンチャー約2,000社。7割以上が赤字経営。
- よく聞いた話。世界の携帯電話、中の技術は多くが日本発。されど日本メーカーの世界シェアは、1割未満。アップル社、iPodが売れると売り上げの約4割の利益。優れた技術で部品を供給している日本のメーカー、売上の数パーセントの利益。
- 技術戦略とともに、市場・マーケティング・経営戦略の徹底的強化（需要創出型のイノベーション）。今のままでは科学技術政策が可哀そう。
- 来たれ「CMO経営塾」。9月開塾。展示ブース「273」でご案内中。